



# フォンス・フローリス古楽院

## 2011年度 講座案内

申込受付開始：2011年1月23日（日）

フォンス・フローリス古楽院は、西欧中世・ルネサンス・バロックの時代の音楽を、主に歌のアンサンブルを中心として実践する人たちのための学びの場です。古い音楽にふさわしい発声の基本、記譜法、声と声あるいは声と楽器のアンサンブル、言語の感覚、音楽史の知識、そして古い音楽の持つ深い靈性と高貴な精神性を、様々な楽曲を通して、ともに楽しみながら学んでいきましょう。



# 講座紹介

いずれの講座も先着順に受け付け、定員に達し次第、募集を締め切ります。  
講座受講にあたり、入会金3,000円を申し受けます。(東京、関西いずれかで初年度一回のみ。  
その後、別の講座を受講する際に再度お支払いいただく必要はありません。)

## グレゴリオ聖歌入門 土曜午後 1時～3時

西洋音楽の源泉、祈りの歌であり、優れた芸術的の歌曲でもあるグレゴリオ聖歌を基本からじっくり、実践的に扱う講座です。様々な楽曲を、言葉と旋法の関係、教会暦や典礼の中での役割などを学びながら、音楽的に充実した演奏ができるように練習します。特に10世紀の古ネウマを基礎から体系的に学習し、演奏に役立てられるようにします。楽譜は Graduale Triplex (約5,000円) を使用します。購入希望の方は お申し出ください。

受講料：30,000円 (全10回)

日程 (総合講座1と同日)：

3月12日 4月30日 5月21日 6月18日  
7月16日 8月27日 10月22日 11月26日  
1月14日 1月28日

## グレゴリオ聖歌演奏法 水曜午後7時～9時

グレゴリオ聖歌による死者のためのミサ「レクイエム」のすべてと、ミサ固有唱の中の奉納唱 Offertorium を集中的に学びます。2007年度から継続の講座ですが、グレゴリオ聖歌、古ネウマに関して基礎的な知識のある方でしたら新規でも受講できます。楽譜は Graduale Triplex を使うほか、随時配布します。

受講料：30,000円 (全10回)

日程：

4月20日 5月18日 6月22日 7月6日  
9月7日 10月19日 11月30日 12月21日  
1月18日 2月8日

## 総合講座「ミサ固有唱を学ぶ」1. 2. 3. 土曜午後

総合講座1 3時半～5時半 イザーク (S6 A6 T3 B3)

総合講座2 1時～3時 パレストリーナ (S4 A8 T3 B3)

総合講座3 3時半～5時半 バード (S8 A4 T3 B3)

ミサの中で主に聖歌隊によって歌われるミサ固有唱には、グレゴリオ聖歌のレパートリーの中でも音楽的にも技術的にも高度で、素晴らしい作品が数多くあります。また、聖歌を元にして様々なルネサンス・ポリフォニーが作曲されました。この総合講座ではまず聖歌を、典礼、旋法、一つ一つの古ネウマなどに関して学びながら、実際に歌って練習します。それに加えて同じ聖歌を、ルネサンス時代の作曲家たちがポリフォニーとして作曲したモテットを、計量記譜法によるオリジナルの写本や印刷譜を使って歌います。

3クラスあり、それぞれ、イザーク Heinrich Isaac (ca.1450-1517) のコンスタンツ聖歌集 Choralis Constantinus、パレストリーナ Giovanni Pierluigi da Palestrina (1525/6-1594) の奉納唱曲集 Offertoria とバード William Byrd (ca.1540-1623) のグラドゥアリア Gradualia に収められた作品から選びます。難易度に差はありません。

初回に記譜法についての基礎的な説明を行いますので、グレゴリオ聖歌、計量記譜法が初めての方は必ず初回から受講してください。

合唱や声楽の経験、複雑なポリフォニーを歌うのに十分な歌唱力、自力で読譜できるソルフェージュ力がある方、また責任を持って予習復習をきちんとしてきてくださる方に限ります。また、少人数のアンサンブルですので、講座にはできる限り欠席、遅刻、早退せず、必ず発表会に参加することも条件です。

受講料：30,000円 (全10回)

日程：

総合講座1 (グレゴリオ聖歌入門と同日)

3月12日 4月30日 5月21日 6月18日  
7月16日 8月27日 10月22日 11月26日  
1月14日 1月28日

総合講座2、3 (同日)

3月19日 5月14日 6月4日 6月25日  
7月30日 10月1日 10月29日 12月3日  
1月21日 2月4日

## 音楽史講読「ノートルダムの音楽」 土曜午前10時～12時

昨年度まで Alan Atlas によるルネサンス音楽通史の教科書を講読してきましたが読了しましたので、今年度より焦点を絞り、中世からルネサンスの時代にかけての、パリのノートルダム大聖堂の音楽について学びます。ヨーロッパの最も代表的な宗教機関のひとつを取り上げることで、建築、典礼、オルガン、演奏者、作曲家といった様々な観点から具体的に、グレゴリオ聖歌やポリフォニーの姿を探っていきます。講読する教科書は Craig Wright 著 Music and Ceremony at Notre Dame of Paris, 500-1550 (ペーパーバック、約5,000円) です。英語の本ですが、講師が翻訳し、音源を聴いたり、譜例を実際に演奏しながらわかりやすく解説していきます。教科書は事務局で一括して注文しますので、御希望の方はお申し出ください。

受講料：12,000円 (全6回)

日程：

5月14日 6月25日 7月30日 10月1日  
12月3日 1月21日

特に記されていない限り 指導：花井哲郎 定員：各18名  
各講座とも1年間の連続講座で、2012年2月11日（土・祝）のフォンス・フローリス発表会で演奏発表する予定です。（音楽史、フランス・バロックのお話、発声講座は発表なし）

## 講義「フランス・バロックのお話」 土曜午後6時半～8時半

講師：関根敏子

17、18世紀のフランスは、音楽史上とてもユニークな時代で、素晴らしい作曲家を輩出しました。その時代と音楽について、フランス・バロックのスペシャリストで、NHK FM「バロックの森」の解説でもおなじみの音楽学者、関根敏子先生がビデオや音源を使いながら楽しくお話しいたします。今年は先生が厳選したこだわりの6曲を6回の講座で解説し、御希望の方には自宅でじっくり聴けるように、事務局でCDを一括注文して御購入頂けるようにします。各回冒頭には院長花井哲郎によるクラヴサン演奏、また講義後にはフランス・ワインと茶菓をお楽しみいただけます。

受講料：18,000円（全6回）

日程とテーマ

5月21日	リュリ「アティス」
6月4日	シャルパンティエ「テ・デウム」
7月16日	ルイ・クーブラン「前奏曲」
9月3日	マレ「フォリア」
10月15日	クーブラン「クラヴサン曲集」
11月26日	ラモー「優雅なインドの国々」

## 合唱のための発声講座 水曜または木曜の午後

指導：望月寛之

合唱や声楽のアンサンブルで歌う人のための発声レッスンです。体の使い方から始め、基本をじっくり指導しますので、声楽のレッスンを受けたことのない方でも受講できます。個人レッスン、あるいはお知り合いとグループを組めれば、3人までのグループでのお申し込みも可能です。1回40分、半期5回、通年で10回のレッスンです。お申込み受付後、レッスン時間割の調整をします。

講座（前期）：水曜日 3月2日 5月18日 6月1日 6月29日 8月3日  
木曜日 3月3日 4月7日 5月19日 6月2日 7月28日

（後期講座の日程発表と申し込み受付は7月末になります。）

受講料（半期5回分）：【個人】30,000円

【2人グループ】一人あたり25,000円

【3人グループ】一人あたり20,000円

望月寛之

洗足音楽大学声楽科卒業及び同大学付属合唱音楽研究所修了。キリスト教音楽、日本の唱歌童謡を中心としたソロ、アンサンブル、合唱声楽指導に力を注いでいる。声楽を宮原昭吾、グレゴリオ聖歌を橋本周子、合唱指揮を川名祐一の各氏に師事。「ヴォーカル・アンサンブル カペラ」メンバー、唱歌童謡を歌い継ぐ「ももたらう」主宰。現在聖グレゴリオの家宗教音楽研究所講師。

## フォンス・フローリス古楽院夏期合宿

日程：2011年8月12日（金）～14日（日）

八ヶ岳を臨む美しい自然に恵まれた信州富士見高原で3日間にわたる合宿を行い、グレゴリオ聖歌を徹底的に学びます。毎日練習の最後には修道院などで伝統的に行われてきた就寝前の祈り「終課」Completorium を唱えます。そして最終日には富士見にある三位一体ベネディクト修道院の御ミサにて、練習した聖歌を奉唱します。日頃、古楽院講座で学んでいる内容を実際の体験を通して、その精神的理解を深める良い機会となることと思います。キリスト教信仰の有無に関わらずどうぞご参加下さい。詳細は決まり次第お知らせしますが、参加を希望される方は申込書にその旨記載してください。

講座の成果を発表会で披露します！  
**フォンス・フローリス発表会**  
2012年2月11日(土・祝)

《グレゴリオ聖歌入門》  
《グレゴリオ聖歌演奏法》  
《総合講座「ミサ固有唱を学ぶ」1. 2. 3.》  
の各講座が参加します。  
発表会参加費：3,000円程度

### 特別講座

本講座とは別に、音楽大学声楽科学生・卒業生、あるいは古楽器演奏家・古楽声楽家の方のためのルネサンス音楽特別講座を定期的に(それぞれ毎月1回程度)開催しています。興味のおありの方は、事務局までお申し出ください。

**お問い合わせ、申込は別紙の「講座申込書」をご覧ください**

**フォンス・フローリス古楽院の所在地**

東急東横線「祐天寺」駅より徒歩10分です。都合により近くの別会場になる場合もあります。  
詳細は受講を申し込まれた方に別途お送りします。

## 講師プロフィール

### 花井哲郎 Tetsuro Hanai

早稲田大学第一文学部哲学専攻卒業。アムステルダム・スウェーリンク音楽院にて、オルガンとチェンバロを学ぶ。ロッテルダム音楽院において合唱指揮と管弦楽指揮のディプロマを取得。またブラバント音楽院にて古楽声楽アンサンブルをレベッカ・ステュワートに師事。滞欧中教会音楽家、合唱指揮者、また鍵盤楽器奏者として活動し、またグレゴリオ聖歌の研究・演奏活動にも従事する。

1997年に東京にて「ヴォーカル・アンサンブル カペラ」を創設、以来ルネサンス・フランドルの宗教作品の演奏を続ける。また古楽をレパートリーとするアンサンブル、合唱団、管弦楽団などを指導するほか、様々な講習会や講座の講師を務め、グレゴリオ聖歌、ルネサンス・バロックの宗教音楽の演奏と普及活動を行う。古楽アンサンブル「コントラポント」リーダー、フォンス・フローリス古楽院院長、国立音楽大学講師。



# フォンス・フローリス古楽院2011年度 講座申込書

申込にあたっては、下の申込必要事項を、ファクス・電子メール・電話などでお知らせ下さい。  
折り返し申込受付の可否(定員に達し次第募集を締め切るため)、受講料の支払方法など詳細をご連絡いたします。  
定員に達し次第、募集を締め切らせて頂きます。受講料の分割払いご希望の方はご相談下さい。  
本申込書は、控えとしてお手元に保管をお願いいたします。

## 申込・問い合わせ先

窪田 phone/fax 04-7140-7225 mobile 080-5099-3751 m-kubota@fonsfloris.com

希望される講座・内容をチェックして下さい

申込日 2011年 \_\_\_ 月 \_\_\_ 日

古楽院講座の受講は  初めて  過去に受講経験あり (どちらかをチェックしてください)

<input type="checkbox"/> グレゴリオ聖歌入門
<input type="checkbox"/> グレゴリオ聖歌演奏法 ( <input type="checkbox"/> テキスト購入希望)
<input type="checkbox"/> 総合講座1 (希望パート <input type="checkbox"/> ソプラノ <input type="checkbox"/> アルト <input type="checkbox"/> テノール <input type="checkbox"/> バス)
<input type="checkbox"/> 総合講座2 (希望パート <input type="checkbox"/> ソプラノ <input type="checkbox"/> アルト <input type="checkbox"/> テノール <input type="checkbox"/> バス)
<input type="checkbox"/> 総合講座3 (希望パート <input type="checkbox"/> ソプラノ <input type="checkbox"/> アルト <input type="checkbox"/> テノール <input type="checkbox"/> バス)
<input type="checkbox"/> 音楽史講読 ( <input type="checkbox"/> テキスト購入希望)
<input type="checkbox"/> 講義「フランス・バロックのお話」
<input type="checkbox"/> 合唱のための発声講座 ( <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> グループ ※備考欄に氏名をご記入下さい) *希望曜日 <input type="checkbox"/> 水 / <input type="checkbox"/> 木 *受講希望時間帯午後 時から(午後2時~9時の間で)
<input type="checkbox"/> フォンス・フローリス古楽院夏期合宿 参加希望

ふりがな

お名前 \_\_\_\_\_

ご住所 〒 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ ファクス \_\_\_\_\_

電子メール \_\_\_\_\_

備考欄 初めて受講される方は、音楽歴をできるだけ詳細にお書き下さい。別紙もご使用下さい。

※発声講座グループ受講メンバーの氏名をお書き下さい。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_